

2014 7月

OIT Website  
http://www.oit.ac.jp

およど

ひとことメッセージ

大学時代、一人旅にハマった。北海道、東北、ヨーロッパ、東南アジア。自分で企画して、自らの頭と感覚で行動していく緊張感と解放感。自信がついて、成長した気がする。

知的財産学部 知的財産学科 教授  
廣田 義人 (専攻: 産業技術史)



# NEW OITスタジアム完成!!



## CONTENTS

# 大学院進学のおすすめ

- 「大学院」について考えてみよう
- 各研究科で活躍する大学院生からみなさんへ

ラーニング・コモンズがオープン ④

NHK大学ロボコンでベスト8入賞 ⑤

学祭イベント案内 ⑥

OITスタジアム竣工記念 ⑦

OIT-NEWS

食堂一押しメニュー「朝定食」 ⑧

# 大学院進学のおすすめ

## 「大学院」について考えてみよう

みなさんは卒業後の進路について、真剣に考えたことがありますか？

“就職活動はまだ先だから…”“就職するか進学するか迷っている…”などさまざまだと思います。

自分が目指す将来像に一歩でも近づくために、今のうちから将来の自分をイメージすることはとても大切。今回は卒業後の進路で疑問が多い「大学院」についてまとめました。

### 1 大学院ってどんなところ？

近年の科学技術は著しく進歩しており、それだけに今、社会はより高い専門知識や技術を持つ人材を強く求めています。その役割を担う大学院は、学部で学んだ基礎をもとに各自の専門分野の高度な知識や技術を身につける場所。卒業研究よりも深く掘り下げて研究を行うので、高度な専門知識や技術を習得する

ほか、自分で計画を立てて研究を進めたり、学会発表を行うことで自ら考えて行動する力が養えます。何より“研究(探究)する楽しさ”は大学院での醍醐味と言えます。研究室の見学や質問など身近な先生や大学院生の先輩に気軽にたずねてみてください。

### 2 大学院へ進学したいけれど、経済的な負担が心配・・・

奨学金制度を利用することで、経済的な負担を大きく軽減することができます。本学には、大学独自の奨学金制度のほか、日本学生支援機構奨学金をはじめとする学外の奨学団体まで、さまざまな奨学金制度があり、大学院生のみなさんをバック

アップしています。また、大学院進学を希望する学部生を対象に、学部在学中に奨学生の募集・選考を行い、早期に採用内定を決定する制度もあります。詳しくは学生課・情報科学部事務室にご相談ください。

#### ■主な奨学金制度

##### 大学院学内奨学金

対象	区分	奨学金の種類	金額	人数	期間
工学研究科 情報科学研究科	給付	一般奨学金・ テラサキ奨学金	年間授業料 の半額	在籍者数の 1/3以内 (学内奨学生の 合計)	1年間 (再出願可)
		特待奨学金*	年間授業料 の全額		標準修業 年限
知的財産研究科		一般奨学金	年間授業料 の1/3	在籍者数の 1/2以内 (学内奨学生の 合計)	1年間 (再出願可)
		特待奨学金*	年間授業料 の全額		標準修業 年限

\* 特待奨学金については、各専攻からの推薦により選考・採用します。

##### 日本学生支援機構奨学金

対象	区分	奨学金の種類	金額	期間
全研究科	貸与	第一種奨学金 <無利子>	(月額) 博士前期課程 5万・8.8万円 博士後期課程 8万・12.2万円 専門職学位課程 5万・8.8万円 より選択可(貸与期間中の月額変更可)	標準修業 年限
		第二種奨学金 <有利子>	(月額) 5・8・10・13・15万円 より選択可(貸与期間中の月額変更可)	
		入学時特別増額 貸与奨学金 <有利子>	10・20・30・40・50万円 より選択可	

#### ■研究活動奨励金制度

大学院生の研究活動を奨励するため、学会などで研究発表を行う場合、申請によって旅費などの一部が支給される制度です(年間5万円を限度に交付)。また、学会での研究発表推進のため、海外での国際会議で研究発表する大学院生に、審査のうえ経費の一部を援助しています。

#### ■TA(ティーチング・アシスタント)制度

大学教育の充実と大学院学生の教育トレーニングの機会を提供するとともに、これに対する手当ての支給により大学院生の経済的支援を行っています。学部の授業科目のうち実験実習・演習の補助に従事し、指導・教育方法を学ぶことを積極的に推し進めています。

Topics

## 海外研究支援プログラム

(Overseas Research Experience Program)

このプログラムは、“国内にとどまらず世界で活躍できる人材に育てほしい”という思いから、2013年度から新しく始めました。大学院に進学予定(または在籍中)の学生を海外の大学・機関に数か月間派遣し研究活動を行うもので、2013年度はサラマンカ大学(スペイン)、マサチューセッツ工科大学(アメリカ)、シュトゥットガルト大学(ドイツ)などに多くの学生が派遣されました。参加した学生たちは現地の研究者や学生からたくさん刺激を受けて、さまざまな知識や壁を乗り越える力を身につけ、現在、意欲的に大学院活動に取り組んでいます。皆さんもぜひチャレンジしてください。

応募資格	大学院進学を決めた学部生(本学学内進学者入試合格者、第1回大学院入試合格者)、大学院学生あるいは専門職大学院学生で、滞在国におけるコミュニケーション能力が十分にある者
派遣先	指導教員が選定する海外大学・研究機関など
派遣期間	1か月以上(7月出国から1月帰国までの期間)
支援内容	往復渡航費、査証発券費用、現地実習費用・施設使用料、海外旅行保険費用の全額と宿泊費の一部

### 2013年度海外研究支援プログラム 派遣報告

工学研究科 機械工学専攻 博士前期課程1年次

鈴木 智也さん

研究テーマ:  
Near-Vacuum Hall Thrusterの  
磁気回路の最適化  
研究派遣先:  
マサチューセッツ工科大学(アメリカ)  
研究期間:  
2013年11月4日~2014年1月10日



サンクスギビングパーティーに参加(鈴木さんは前列右)

私は大学4年の11月から約2ヵ月半、海外研究支援プログラムを利用して、世界最高峰の理系大学として有名なマサチューセッツ工科大学に留学しました。留学先の宇宙推進工学研究室では、宇宙空間を飛び回る人工衛星に搭載する電気推進エンジンを研究しました。電気推進エンジンとは、推進剤と呼ばれる燃料を高速で噴射させることで作用反作用の原理を利用して推進力を得る外燃機関で、私は噴射の安定性や噴射性能の向上に深く関わる「磁場設計の最適化」を担当しました。世界の先端的な研究に携われたことや、留学先の教授や生徒から多くの刺激を受けることができ貴重な経験となりました。この経験を大学院活動でも大いに生かしたいと思っています。



## ③ 大学院生は、就職活動で有利になるの？

社会や産業界は、より高度な学識や技術力を持つ人材を強く求めているため、大学院生には多くの企業から求人があります。なかには、採用者の多くを大学院修了者が占めるといった大手

### ■主な就職先(過去3年間)

**工学研究科**：関西電力(株)、(株)日立製作所、パナソニック(株)、積水ハウス(株)、三菱電機(株)、大和ハウス工業(株)、スズキ(株)、大阪ガス(株)、京セラ(株)、凸版印刷(株)、西日本旅客鉄道(株)、ローム(株)、本田技研工業(株)、清水建設(株)、(株)大林組、大日本スクリーン製造(株)、テルモ(株)、キューピー(株)、アキレス(株)、メタウォーター(株)

**情報科学研究科**：(株)日立製作所、三菱電機(株)、ソフトバンク(株)、

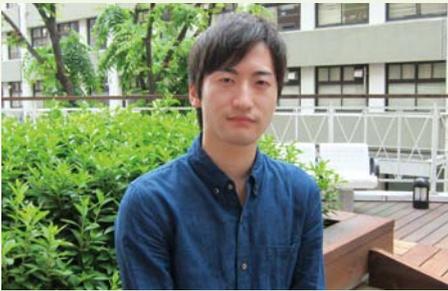
企業もあります。専門性が高く、培った経験や知識・技術の積み重ねがあるので、高齢になっても働け、大学院修了者には高額の所得者が多いという傾向もあります。

NECソリューションイノベータ(株)、アルプス電気(株)、(株)ミライト、(株)富士通ビー・エス・シー、(株)OKIソフトウェア、ネットワンシステムズ(株)、(株)ノーリツ

**知的財産研究科**：富士通(株)、大和ハウス工業(株)、バイオニア(株)、オムロン(株)、(株)栗本鐵工所、(株)島津製作所、山陽特殊製鋼(株)、スカイマーク(株)、ナカバヤシ(株)、原謙三国際特許事務所

## 各研究科で活躍する大学院生からみなさんへ

本学では高度な研究の場で、多くの大学院生が専門性を培っています。現役大学院生に、大学院に進学した理由や現在の学びについて語ってもらいました。



工学研究科  
電気電子工学専攻  
博士前期課程2年次

藤本 祐也さん

内々定先 三菱電機(株)

私が大学院進学を決意したのは大学3年の夏。当時、大学院生だった先輩に影響を受けて「私も先輩のように研究に没頭したい」という思いが強まったことがきっかけです。所属する研究室では、電極間に高電圧をかけて発生させる放電プラズマを用いて活性酸素種を生成し、有機物の分解処理に取り組む研究を行っています。実験室には高電圧に関する研究設備が充実しているので高度な研究が可能です。将来の実用化に向けて何度も実験を繰り返すなかで、実験結果を検討して文献を調べたり理論を勉強し直したりする過程は卒業研究では味わえない面白さがあります。学会発表や後輩指導などもあり毎日が忙しいですが充実しています。来年は大学院で学んだ高度な専門知識と技術を生かして、研究者の一人として社会で大きく羽ばたきたいと思っています。



情報科学研究科  
情報科学専攻  
博士前期課程2年次

沼田 裕也さん

内々定先 (株)スクウェア・エニックス

大学3年の4月、ゼミ配属のため研究室を見学していた時に「大学院に進学してみないか?」と指導教員から声を掛けていただきました。就職するか進学するか…、悩んだ先に見えた答えは「大学院2年間で思う存分に学びたい」でした。所属する研究室では、図形や画像をコンピュータで処理する様々な手法の研究開発をしています。私の研究テーマは「3Dプリンタにおける形状分割の一手法」。三次元モデルを画面に表示するだけでなく、実物として高速に出力する3Dプリンタの応用研究に取り組んでいます。大学院生になって気付いたことは「大学院にはアクティブな人が集まる」ということ。私と同じ「学びたい」という強い気持ちを持つ学生と接する日々はとても刺激的です。2年間をどう過ごすかは自分次第。大学院に進学する価値は十分あると感じています。



知的財産研究科  
知的財産専攻  
専門職学位課程2年次

入江 彩子さん

内々定先 (株)タダノ

私の夢は、弁理士試験に合格することです。その夢を叶える一番の近道は、知的財産学部を卒業して専門職大学院に進学すること。専門職大学院を修了すれば、弁理士試験の一部が免除されるので、私は迷わず専門職大学院への進学を決意しました。大学院では、日本における原産地表示を取り巻く法的規制について、裁判例を通じて原産地認認表示の判断基準を明らかにする研究を行っています。具体的な事例や判例などを通じて、問題の発生や原因、法令の適用、対応策などを研究する過程はとても興味深いです。また、専門職大学院には、企業や法律事務所などに勤務する社会人や留学生も在籍するので、ゼミや授業の場でお互いが対等に意見を述べ合うことはとても新鮮です。将来「知的財産のプロ」と言われるよう頑張りたいと思います。

## 「地域クリーンキャンペーンに参加しよう！」

本学では地域貢献を目的として大学周辺地域の清掃ボランティア活動「地域クリーンキャンペーン」に取り組んでいます。参加者にはポイントカードを渡し、ポイントを達成した人にアチーブメントシートを発行しています。清掃中に地域の人から「ありがとう」と声をかけられたり、とてもいい気分転換になります。みなさんの積極的な参加をお待ちしています。

### ■日 時 毎週月曜日～金曜日(授業期間のみ)

【大宮】①12:40～13:10 ②16:40～17:40

※今年度から、1回の清掃活動が30分間になりました。

【枚方】9:00～17:00の自由な時間で30分間

### ■参加方法 参加日と人数を事前に学生課に連絡。

清掃グッズは大宮は学生課、枚方は情報科学部事務室に用意してありますので手ぶらでOK。

### ■その他 8回参加→アチーブメントシート1枚発行



アチーブメントシート  
ってなんだ?!

行事に参加・協力して大学や地域に貢献した学生に対して本学から発行されるボランティア活動証明書です。このシートの取得は就職活動でエントリーシートに記入するなど自己PRに活用できます。また、一定枚数以上取得した人には学長表彰(善行賞)の対象になります。

## 「ラーニング・commons」がオープン！～学ぶ楽しさを実感しよう♪～

仲間と共にグループワークができる学習スペース「ラーニング・commons」が大宮キャンパス8号館4階、枚方キャンパス1号館4階にオープンしました。

「ラーニング・commons」は、授業で出た課題をはじめ、実験・演習のレポートを作成する時はもちろん、プロジェクトやクラブ活動のミーティングの場としても利用することができます。個々の自習から少人数でのグループワークまで、様々なスタイルに合わせて自主的に学習などに取り組むことができます。

さらに、プレゼンテーションが行える設備も整っていますので、ちょっとした発表やイ

ベント、卒業研究発表などの練習の場としても利用することができます。

大学生活の魅力の一つである『学ぶ楽しさ』を実感できる「ラーニング・commons」を、ぜひ

利用してください。

※「ラーニング・commons」は、文部科学省の「平成25年度私立大学等教育研究活性化設備整備事業」補助金の交付を受け整備しました。



グループ学習エリア(大宮キャンパス)



プレゼンテーションブース(枚方キャンパス)

## 「100万人のキャンドルナイト@OSAKA CITY2014 Summer」に出展

6月6日と11日に大阪・梅田エリアで開催されたイベント「100万人のキャンドルナイト@OSAKA CITY2014 Summer」に本学工学部建築学科の学生チームが出展しました。

例年夏至と冬至に合わせて実施されるこのイベントは、環境問題や暮らしを見つめなおす文化・社会的な活動イベントで、茶屋町・西梅田の各会場内にキャンドルを用いたさまざまな作品が展示されました。

都心の電灯は2時間消灯され、キャンドルの灯すあかりが普通の街並みとは違う幻想

的な世界をつくりだしていました。会場は多くの人で賑わい、学生たちがつくったアートのひ

かりに包まれて歩く姿や、足をとめて作品を写真に収めたりする姿が見られました。



チーム「Nu.T」の作品



チーム「D-Studio」の作品

### カウンセラーのひとり言

## 「いただきます」という風習

カウンセラー 神代 末人

あるお店でお昼を食べていると、他のテーブルからこんな会話がきこえてきました。「僕の国には、いただきますという習慣はありません」。見てみると、そちらには日本人2人と一緒に、白人の男性が1人。日本人の2人は驚いた様子でしたが、思わぬ所で垣間見えた文化の違いが面白くて、話は盛り上がったようです。料理が出てくると、3人は一緒に「いただきます」と言い、白人の男性はどこか照れくさそうに、でも楽しく笑って食事を始めたようでした。

あらゆる日本語は外国語に訳せそうなものですが、中には「いただきます」のように、日本語特有の表現があり、またそれが習慣と結

びついていたりもします。そこには、日本人に独特の感性が込められているかもしれません。

調べてみると「いただきます」には、食事に携わってくれた人への感謝だけでなく、かつて生きていた食材から「命をいただく」ことへの感謝の意味も込められているそうです。何気ない「いただきます」ですが、こうしてみると、周囲の人や自然との「和」を大事にする姿勢が表れているようで、とても美しく思えてきませんか。風習は窮屈なこともあります。そこには大事な何かが隠れているかもしれませんね。

### 心理学アラカルト

## 「シンプル」にご用心

カウンセラー 山本有恵

「きれいはい汚い、汚いはいきれい」、シェイクスピア作『マクベス』の冒頭の有名な一節です。字義通り読んでは意味が通りませんが、ここには物語を暗示するとても複雑な意味が隠されています。

たとえば幼稚園児が好きなきに意地悪をするとき、「嫌い!」と言いつつも表情や仕草や口調などから好意が発信されているように、私たち人間のコミュニケーションは、そうした二重(以上)の意味を持った極めて複雑な情報交換の上に成り立っていて、表面上以外で交わされるメッセージは「メタ・メッセージ」と言われています。複雑な心を持つ人間ならではのコミュニケーションです。

ところが近年身近になった掲示板やSNSといったWEBでのやり取りのことを考えてみると、この「メタ・メッセージ」のやり取りが難しいことに気付きます。ある言葉を、誰がどんな表情でどんな口調で発したかなんてことは画面の文字からは読み取れませんから、そこでは多くの情報を削ぎ落としてシンプルなやり取りをせざるを得ないわけです。そう考えると、WEBというのは「そもそもコミュニケーションが難しい道具」なのかもしれません。「シンプル」が受け入れられやすい世の中ですが、本来複雑なものをシンプルにする代償はどこかにはあるはず。時々「シンプル」にご用心を!



## ワールドカップ応援会など、各種イベントで学生が活躍

サッカーワールドカップの学内応援会を、6月15日と20日、情報科学部で開催しました。両日とも多くの学生・教職員が熱い声援を送りました。残念ながら、両試合とも日本は勝利できませんでしたが、学生たち



枚方キャンパスの様子

の結束力はいっそう強まったようでした。

情報科学部では、春から、桜春祭、学園3大学交流戦、球技祭、七夕祭りなどを相次いで開催するなど、学生たちの積極的な活動が続いています。

また、大宮キャンパスでも6月20日にサッカーワールドカップ応援会を開催しました。大宮キャンパスにも多くの学生や教職員が集まり、おおいに盛りあがりました。



大宮キャンパスの様子

## NHK大学ロボコン2014で本学チームがベスト8に入賞

6月1日、国立オリンピック記念青少年総合センター大体育室(東京都渋谷区)で開催された「NHK大学ロボコン2014～ABUアジア・太平洋ロボコン代表選考会～」で、本学ものづくりセンターで活動するロボットプロジェクトチーム「大工大エンジュニア」がベスト8に入賞しました。今回の競技課題は、親ロボット(手動)、子供ロボット(自動)の2台が、まるで親が子供を公園で遊ばせるように「シーソー」、「ポールウォーク」、「ブランコ」、「ジャングルジム」の4つの課題に挑戦していくというもの。



競技中の石原祥君(R科3年・左)と高橋知也君(E科3年・右)

書類審査、ビデオ審査を通過した18チームで行われた予選リーグで、本学チームは第一試合に出場。全チームが緊張の面持ちで観戦する中、冷静に手動ロボットを操縦し、着実に得点を重ね勝利。勢いに乗る本学チームは2試合目でも勝利し、見事予選リーグ6位で突破しました。決勝トーナメント準々決勝で惜しくも敗れましたが、安定感ある試合運びは会場を大いに沸かせました。

今大会で見つけた課題を克服し、さらに強いチームを目指して取り組む学生たちに期待が集まります。



熱い声援を送る応援団

## 「ロボカップジャパンオープン2014」で準優勝!!

5月3日～6日、九州工業大学にて「ロボカップジャパンオープン2014」が開催されました。今年も工学部ロボット工学科と情報科学部の学生がチームを組み(チーム名:O.I.T.Trial)、日常生活の場面での人とロボットの共生をテーマにしたロボカップ@ホームリーグに出場しました。海外の3チームを含む全10チームが6つの課題(タスク)で競い合いました。

工学部のロボット「ASAHI」は、競技種目 Follow me (人の後を追うタスク)で、情報科学部のロボット「昴」は、Cocktail party (飲み物を運ぶタスク)で1位を収めました。上位5チームのみが出



Follow me競技の様子

場を許される Final (すべての技術を披露するデモンストレーション)では、大接戦の末、準優勝となりました。

今後のさらなる活躍が楽しみです!



表彰式の様子

## 新入生歓迎イベントを開催しました。

### 新入生歓迎フェスティバル(大宮キャンパス)

4月2日～4日、大宮キャンパスでは、文化会本部・体育会本部・城北祭実行委員会・応援団主催の「新入生歓迎フェスティバル」が開催されました。この活動は、各クラブやプロジェクト団体が新入生に対し「クラブ活動を通じて本学の良さを知ってもらおう」とクラブの活動内容等をPRする恒例イベントです。各団体のブースが設置された東中庭は、先輩学生の熱心な説明に加わって、特色あふれるポスター、クライミング体験コーナーやロボット・ソーラーカーの展示などが設けられ、たくさんの初々しい新入生が興味を持って質問をぶつける姿が見受けられました。新入生にはぜひ、クラブ・プロジェクト団体に加入し、充実した大学生活を送ることができるよう願っています。



たくさんの新入生が集まりました

### 桜春祭(枚方キャンパス)

枚方キャンパスで活動している課外活動団体を新入生に紹介するイベント「桜春祭」が、4月9日に北山祭実行委員会の主催により開催されました。エントランスホールに各団体のブースを設置し、課外活動団体が一堂に集結しました。各団体とも特色のあるクラブ紹介を行い、新入生参加型のブースが数多くみられ、中には先輩学生1人に対し、新入生数名が将棋で勝負を挑むなど、ユニークなブースもありました。また、正面玄関前では、ジャグリングクラブやストリートダンスのパフォーマンス披露があり、その他にも、午後からは桜春祭恒例のビンゴ大会が行われ、今年度の桜春祭も大いに盛り上がりしました。

枚方キャンパスのクラブ活動はまだまだ発展途上ですが、より一層大宮キャンパスとの交流を深め、今後さらなる飛躍を期待しています。



学生であふれたロビー



パフォーマンスの様子

## 第52回大阪工業大学学長杯学内レガッタ

体育会漕艇部主催「大阪工業大学学長杯学内レガッタ」が5月24日、淀川・本学北側特設コースで開催されました。この大会は毎年、体育会漕艇部が主催し今回で52回目を数える本学の伝統行事です。今年も近隣地域の多くの商店主からご支援をいただくとともに、研究室・クラブ・教職員がクルーを構成し、16クルー・62人が学長杯を競いました。

湿度が高く蒸し暑い中、接戦を制し学長杯を

勝ち取ったのは「サンブラザ声高研チーム」。力強く、息の合ったローイングで見事に学長杯を手に入れました。

学内レガッタには、4人乗りの艇でレースをすることのほかに、「淀川に親しむ」という目的があります。参加者は、普段身近にありながら、親しむ機会の少ない淀川に触れ、漕艇部の活動と淀川の環境に理解を深めたようでした。



優勝クルー「サンブラザ声高研チーム」

## 2014年度 学祭イベント案内

### 大宮キャンパス 城北祭

10月  
24日～26日  
開催!!

### 枚方キャンパス 北山祭

11月3日  
開催!!

毎年の恒例行事である大宮キャンパスの学園祭「城北祭」が、10月24日～26日に開催されます。今年のテーマは「JOY JOY JOINT!」です。

ビンゴ大会、のど自慢大会、吉本お笑いライブ、声優のトークショーをはじめ、音楽系のクラブ団体による演奏や、様々な模擬店、ロボットや鉄道模型を楽しめる体験コーナーなどが催されます。昨年度の城北祭は、天気に恵まれなにもかかわらず、来場者数12000人の大盛況となりました。

今年の城北祭参加説明会では、すでに昨年よりも多くの参加希望者が集まっています。今まで学園祭に参加したことがなくても、クラブやサークルに所属していても、城北祭は学園関係者なら誰でも参加できます。工大生が一体となって、学園祭を盛り上げましょう!



たくさんの扇子が教室に並び扇子展



吉本お笑いライブ

詳しくは、下記の連絡先までお問い合わせください。

〔城北祭実行委員会〕

〔E-mail〕 shirokita\_post@yahoo.co.jp

〔TEL〕 06-6953-8770

### 年に1回の大イベント!!

11月3日(月・文化の日)に枚方キャンパスで「北山祭」を開催します。例年、200店舗を超える大規模なフリーマーケットでは、思わぬ掘り出し物が見つかるかも!?

そして、ステージイベントでは、吉本お笑い芸人がやります。いつもテレビで見ているお笑い芸人を生で見るチャンスです。さらに、新イベントとして子どもから大人まで楽しめるヒーローショーを開催します。吉本お笑いライブも、ヒーローショーも入場料はもちろん無料。そして、毎年恒例のビンゴ大会も実施します。豪華景品を多数用意しておりますので、奮ってご参加ください。

やっぱり大学といえば学園祭。私たちの「北山祭」に皆様のご来場を心よりお待ちしております。



多くのフリマで賑わうキャンパス



今年も吉本お笑いライブが登場

〔北山祭実行委員会〕

〔E-mail〕 kitayamasai131@gmail.com



## 枚方キャンパス野球場 「OITスタジアム」オープニングセレモニー

このたび、枚方キャンパスに完成したOITスタジアムで3月30日、竣工記念オープニングセレモニーを実施し、始球式では、元メジャーリーガーの野茂英雄氏が登壇しました。当日は、本学硬式野球部とNOMOベースボールクラブとの記念試合が行われる予定でしたが、雨天のため中止となり、完成記念の神事やテープカット、始球式のみ行われました。学園関係者はじめ、近隣の野球ファン約100人が集まる中、野茂英雄氏による始球式での投球では見ていたギャラリーから、拍手と歓声が沸きあがりました。

OITスタジアムは、グラウンドの人工芝化をはじめ、防球ネット、10基のナイター照明に加え、約800㎡の雨天練習場も備えた関西でもトップクラスの施設です。今後、硬式野球部を中心に様々なクラブで活用していくこととなります。各クラブの活躍がますます楽しみです。



元メジャーリーガーの野茂英雄氏が始球式に登壇

## 「鳥人間コンテスト2014」に出場決定!!

7月26日、27日に琵琶湖(彦根市松原水泳場)で開催される「鳥人間コンテスト2014」(主催:読売テレビ)に本学の「人力飛行機プロジェクト」チームが、3年連続となる今年も参戦することになりました。

「人力プロペラ機ディスタンス部門」(飛行距離競技)に出場する本学チームは、人力飛行機で世界初の1枚ブレードプロペラを特徴とし、主翼の精度向上、軽量化など大幅な進化を遂げました。パイロットを務めるのは、体育会航空部OBの酒井一真さん(2006年3月卒)です。酒井さんは、学生時代に自家用操縦士のライセンスを取得し全国大会に2回の出場経験を持っています。また、現在は実業団自転車レースに参戦するなど、飛行に関する豊富な知識と自慢の脚力を駆使して入賞を目指します。

昨年は、飛行距離199.7mで7位の記録となりましたが、今年は更に新しいメンバーを加え大きく羽ばたいてくれることを期待します。ぜひ応援よろしくお願いします。



大空へはばたけ!

## 「常翔学園三大学課外活動団体交流戦」を開催しました。

6月7日～8日、大阪工業大学大宮・枚方キャンパスにて、「常翔学園三大学課外活動団体交流戦」を開催しました。

今回の交流戦は体育会系課外活動団体が各大学校地に一堂に会し、総勢29団体が2日間で延べ893人参加しました。

交流戦は2日にわたり、懇親会や合同練習、試合を実施しました。1日目の開会式兼懇親会では三大学の学生が大学の垣根を越え、お互い積極的に話しかけ交流を深め、各課外活動団体の代表者による今年度の意気込みや日頃の活動状況の報告を行いました。また、本学の応援団とストリートダンス部も応援に駆けつけ、会場を大いに盛り上げてくれました。

2日目の交流戦では、各会場で日頃の練習の成果を発揮する激しい試合が繰り広げられました。試合会、普段一緒に活動しない他大学の選手と合同練習を行い、程よい緊張感のもと汗を流しました。なお、文化会系課外活動団体による交流会は11月22・23日に実施予定です。

これからリーグやシーズンを迎えるクラブが数多くありますが、今回の交流戦を足掛かりに各大学のクラブ活動がさらに飛躍することを願います。



三大学の学生が交流を深めた懇親会



## クラブピックアップ

### 文化会ボランティア教育研究会が 東北地方の現地復興ボランティアに参加

2月23日～3月2日、本学文化会ボランティア教育研究会が、『遠野まごころネット×Youth for 3.11』の68期プログラムに参加し、東日本大震災により被災を被った岩手県遠野市、陸前高田市、大槌町、大船渡市、釜石市を中心に、ボランティア活動を行いました。

陸前高田市では、花壇の肥料を入れる作業、野菜を育てるための畑作りやイベントの会場作り(主に雑草の取り除き、枯草の拾い集め、看板を設置するための土台作り等)を手伝いました。そして、大槌町付近の仮設住宅の雪かきと地面に張っていた氷の壊し作業を行い、仮設住宅の人に震災当時の話を聞きました。今回訪れた大船渡市は、震災があったとは思えないくらいの建物と商店街があり、活気づいていました。この活動を通じて、被災地の復興状況を認識し、一日でも早く復興が実現するために若者の力を注ぎました。



畑作りの説明を聞くボランティア教育研究会の学生たち

## 「新入生ふれあいキャンプ ～I CAN～」を実施!

4月19日～20日の2日間、奈良県吉野郡吉野町の宮滝野外学校で「新入生ふれあいキャンプ～I CAN～」を実施し、新入生や上級生リーダーなど108人が参加しました。

1日目は簡単クッキングからスタートし、友達作りのトレーニングゲーム「ハートアクティビティ」、夕食は飯盒炊さんでお米を炊きながらのカレー作り、夜はグループごとに出し物を考えて発表する「パフォーマンスナイト」を楽しみました。2日目は「ディスクバリーウォーク」という山登りに挑戦し、苦勞しながらも班全員で力を合わせて山頂まで辿り着き、自分たちで作った「い

なり寿司”を食べました。グループごとにプログラムを通して徐々に打ち解けあい、楽しく充実したキャンプとなりました。



火おこしから挑戦したカレー作り



吉野の山をみんなで山登り



全員集合

## 外国人留学生歓迎会を開催

～中国、タイ、サウジアラビアなどから25人が仲間入り～

今年も留学生歓迎会を4月25日に大宮西学舎研修センター会議室Dで開催しました。新たに編入学生、短期留学生を含め学部・大学院生合わせて計6カ国25人の新入生が会場で紹介されると、先輩留学生や教職員からあたたかな拍手で迎えられました。開会にあたり西川学生部長から歓迎と激励の言葉をいただいた後、真貝国際交流センター長の乾杯の発声で開会しました。昨年度から留学生との交流やサポートを行う課外活動団体の国際友好部の司会、運営のもと新入生の表情も次第にほぐれ、留学生同士や教職員と話が弾み、親交を深めていました。会の半ばには新入生から自己紹介があり、一人ずつ日本語で今後の抱負などを語り、先輩留学生の徐冬燁くん(M3・中国)から代表で留学生生活の成功を祈る言葉が贈られました。また、当日は日本に関するクイズ大会を行ったほか、文化会茶道部の協力による恒例のお茶のお手前も披露してもらい、歓迎ムードを盛り上げました。最後に周留学生担当委員か

ら大学での留学生のサポート体制などをお話しいただき、閉会しました。

将来、彼らが日本の企業や母国の指導者として、また世界で活躍できるよう、これからの学業に期待したいと思います。



新入生のみなさん、大阪工業大学へようこそ

### 常翔ウェルフェア★ニュース

## 朝食は1日の元気の源!

朝食をしっかりとり、規則正しい生活リズムを身につけてもらうことを目的に、大宮キャンパス中央食堂1階では朝食を提供しています。

朝食には

- ・脳の働きを活性化し集中力・記憶力を高める
  - ・体温を上昇させ、代謝を高める
- などの効果があり、朝食は一日のはじまりにとっても重要といえます。

大宮キャンパス中央食堂では「主食+主菜+副菜+汁物」が揃い、バランスのとれたメニューを3種類ご用意しています。

【納豆定食】

【焼き鮭定食】

【唐揚げ定食】



朝食営業時間：月～金 8:30～9:30

毎月19日は食育の日として、通常200円の定食を半額の100円で提供し、多くの皆さんに利用していただいています。今後の食育キャンペーンにもご期待ください。

## 就職 NEWS Vol.16

### 工大流就職支援

リクルートワークス研究所によると今年度の大卒求人倍率は1.61倍となり、昨年度の1.28倍から大幅な上昇となった。企業の方が求人依頼で就職課へお越しになるが、採用広報活動が解禁となった昨年12月から5月末までで、昨年度より100社以上多い672社が来室された。例年になく採用意欲の高さを感じた。そんな中、本学の5月末の内定率は、昨年度と比べて全体で5ポイント以上アップし、好調なスタートを切った。しかしながら、まだ半数以上の学生が就職活動中。彼らを対象に5月に学内合同企業説明会を実施。参加した企業の担当者がエレベーターの人力飛行等の学生プロジェクトのポスターを見て、「学生プロジェクトに参加している学生がブースに訪れてくれないかな」と仰られた。帰り際に「プロジェクトの学生に会えた。非常にいい学生だった。ぜひ採用したい」と喜んでおられた。学生プロジェクトも毎年実績を積み重ね、技術力と人間力の両軸を鍛える工大の大きな強みになった。産業界が求める人材の育成こそ工大流就職支援である。